

園だより(学校評価 号)

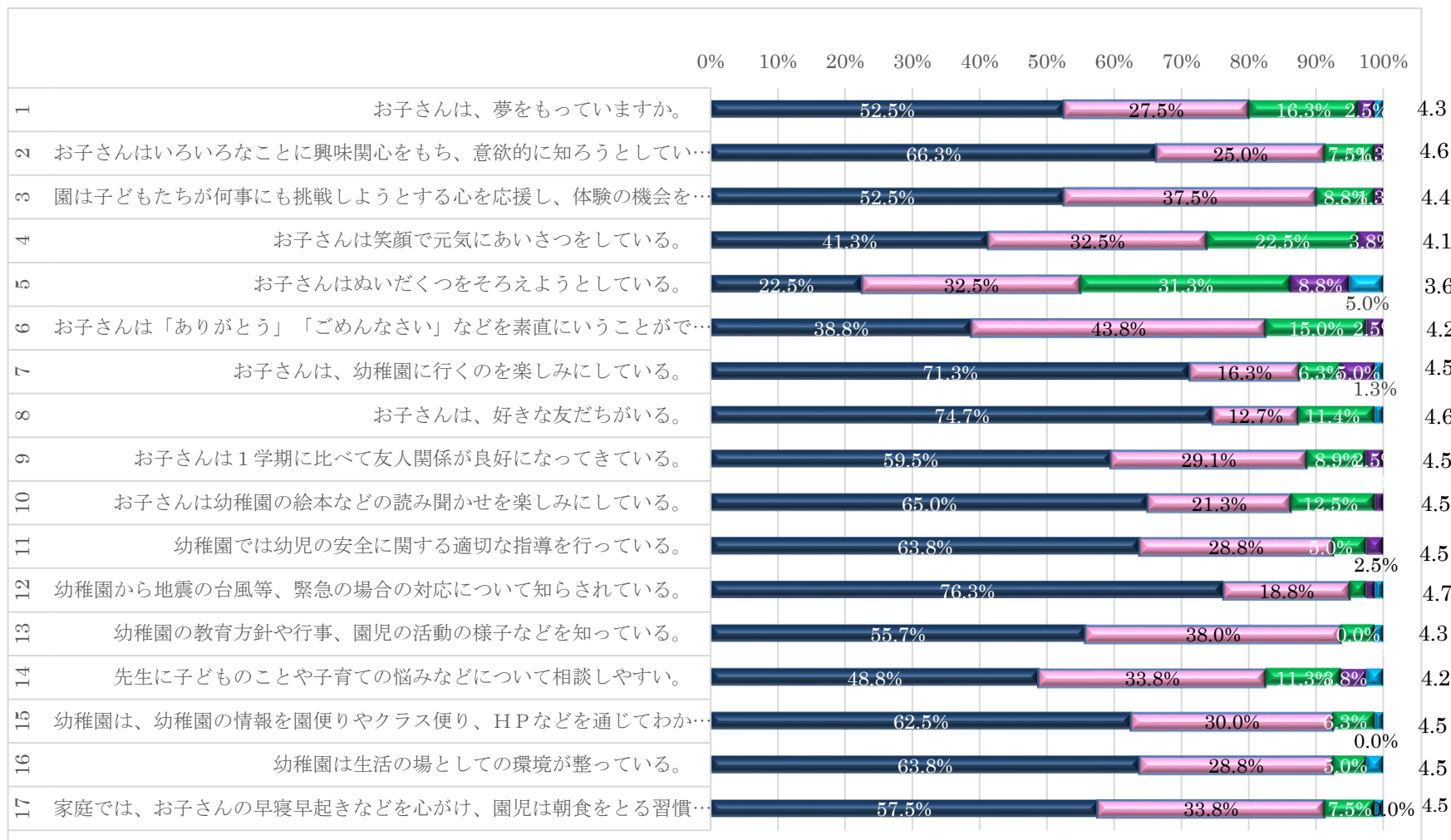
令和2年 3月 2日
深谷市立おかべ幼稚園



令和元年度も残すところわずかとなりました。保護者の皆さまには、いつもご理解とご協力をいただきありがとうございます。この学校評価は、1年間の園の経営や運営を振り返り、次年度に改善していくために役立ててまいります。特に、保護者の皆さまからの外部評価は、客観的に園児への教育活動の成果を振り返る貴重な数値といえます。ご協力ありがとうございました。

＜ 令和元年度 保護者評価 ＞

*本年度の後期は、5段階で評価していただきました。数値を公表しております。(右端に記載)



評価について

成果が見られた点

○質問項目 4 「お子さんは笑顔で元気にあいさつをしている。」 「はい」 5・4 67. 1%(H30)→73. 8%(R1)

深谷の子「6つの誓い」の一つである「わたしはすすんであいさつをします。」が身につくよう幼稚園では、継続的に「朝のあいさつ運動」を行っています。3歳児のりす組さんも、今では大きな声ですべての先生にあいさつをしてから、外遊びにでかけます。朝、園庭に元気な声が響いて園の一日がスタートでき、活気ある一日が始まります。4・5歳児は、お友達とも「おはよう」とあいさつを交わす姿が見られるようになってきました。「おはよう」「いってきます」「ただいま」、たくさんのあいさつがお家でも交わされるようになっていくといいなと思います。

○質問項目 11「おさんは1学期に比べて友人関係が良好になってきている」 「はい」5・4 88.6%（新項目）

本年度初めて、この項目を入れました。前期は「お子さんは、友達のことではいやな思いをしていると話すことがある」で、2・1（ない）を選択した方は、60.3%でした。3歳児は「おもちゃをとられた」「押された」が多く、4歳児は「いれて」といったのに「だめよ」と言われたという回答が多くみられました。また、「嫌なことをいわれた」がありました。5歳児になると、友人関係が固定化してきているような雰囲気もあり、回答は「遊ばない」「仲間にいれてあげない」と言われたという内容が多くありました。

2学期に、「思いやりプロジェクト」と題して、各クラスで工夫をして、「ふわふわ言葉」や「ほかほか体験」など、よい行いを顕彰する活動を取り入れたりして、改善に努めました。やさしい思いやりにあふれた園児を育てられるよう、一層努力してまいります。

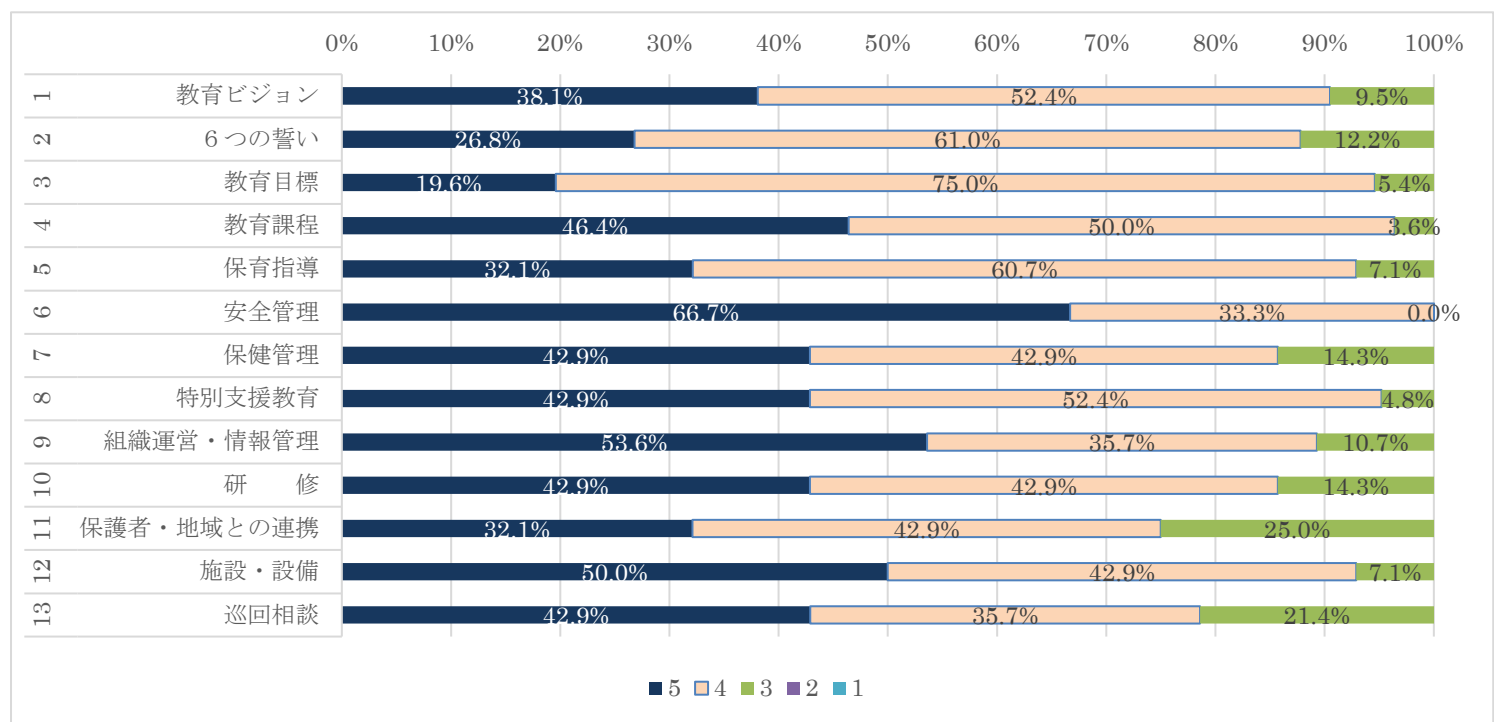
課題が見られた点

○質問項目 5 「ぬいだくつをそろえようとしている」  「はい」 5・4 54. 8% (H30) → 55. 0% (R1)

幼稚園では、毎朝「先生、おはようございます」という「あいさつ」と「くつそろえ」を意識して指導してきましたが、「だれもが」「いつでも」「だれにでも」あいさつできるとか、どこでもくつそろえができるとなると、評価は下がります。小中学校でも取り組んでいる「深谷の子『6つの誓い』」、これからも継続して取り組むことで自然とあいさつやくつそろえが子供に身に付くと考えます。お家でも「できたらほめる」をお願いします。また、本年度夏休みに取り組んだ「くつそろえシート」の活用をお願いします。



＜学校自己評価＞・・・ 職員による学校自己評価



＜成果＞

昨年度の評価に比べて、全体的に数値には向上がみられました。

○「安全管理」（「はい」）5・4 100% 5段階評価 4.7）

おかべ幼稚園では、園としての一番の目標を「園児にとって安全、保護者の方にとっても安心」な場の実現にしています。特に、感染症などの蔓延をおこさないように、降園後の保育室の机やいすの消毒や玩具の衛生管理に努めてきました。また、園庭の遊具も安全点検を定期的実施し、保育中の事故防止には全員で研修を行ってきました。感染症による学級閉鎖もなく過ごせてよかったと思います。

○ぬいだくつをそろえることができる子どもを育てていますか。 5段階評価 4.6（H30）→ 4.3（R1）5・4 100%

「〇〇先生、おはようございます」という元気なあいさつと、ぬいだくつをそろえることを継続的に指導しています。基本的な生活習慣がしっかりと身に付くようにしたいと思います。



＜課題＞

○教育ミッション 「ありがとう」の思いが表現できる子を育てていますか 5段階評価 3.8（H30）→3.9（R1）

5段階評価の4・3が多く、数値の向上が見られませんでした。「ありがとう」の思いを表現できる子の育成は、深谷市の目指す子どもの姿でもあり、次年度、具体的に取り組みを改善し、職員共通課題として、取り組んでいきます。給食を作ってくださる調理員さんに「ありがとう」の感謝の気持ちで給食をいただくこと、そして、やさしく声をかけてくれたり、手伝ったりしてくれた行為には「ありがとう」と素直に感謝の気持ちをことばにできる子どもたちの育成をめざして、今後も努力を続けます。

○組織運営「教育目標や教育方針を理解し、保護者に説明するとともに、園児への指導に取り組んでいる」

5段階評価 3.4（H30）→3.9（R1）

「園だより」では、「深谷の子6つの誓い」、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」等をコラムに取り上げてきましたが次年度は、園の教育目標や教育方針をお伝えしながら、園児の活動の様子を伝えていけるように工夫改善していきます。先生方が理解してこそそのスタートですので、その点を園長としてよく反省し、この項目の向上を目指していきます。

記述いただいたご意見・要望から

- ・子供が毎日、HP の日誌を見ています。写真を見ながら出来事を説明してくれるので楽しく過ごしているのがわかります。これからも続けてほしいです。（ありがとうございます。がんばります！）
- ・外遊びを充実できるように、夏は日よけ、冬は風よけになるようにフェンス側に木がもう少しあってもよいと思います。（防犯や安全面から、見通し良くしています。フェンスはプール遊びの時期だけはシートをかけています。）
- ・降園する時に、一度外で並ばずに降園できると時間がかからなくて良いと思います。（降園の際、手をつないで、交通安全のお約束を親子で唱えていただくなど、帰りの会にも意義をもたせています。寒い日もあるかと思いますが、今まで通りで、ご理解とご協力をお願いします。）

令和元年度を取組を評価していただくことや自分たち自身で振り返り評価することで「がんばって成果となってきたこと」「まだまだ工夫や改善が必要であること」などが明確になりました。ご協力をありがとうございました。

令和2年度も、幼児教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることを心にとめ、小学校へ円滑な接続ができるよう、本年度以上の取組ができるよう努力してまいります。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。